



真 心



令和7年 2月21日

樋川小学校 No19

文責 岩網 清美

学校教育目標 自ら考え主体的に行動し、共に伸びる樋川っ子 ~「成長・感謝・希望」の1年~

昨晩、しんしんと降り積もった雪…朝起きてびっくりです。学校にたどり着く道は、子どもたちの送迎の車で列をなしています。前方に、職員の車が一台、立ち往生しています。その車を救出しようと一生懸命手を貸してくださっている保護者の方が何人かいいます。他の職員も手伝い、何とか脱出できました。お手伝いしてくださった保護者の皆様、降り積もる寒い雪の中ありがとうございました。大変助かりました。

駐車場にたどり着くと、玄関前では5・6年生と職員で雪かきをしています。それでも、雪は降り止むことはありません。大変な1日のスタートでしたが、気持ちは明るくいられました。それは、みんなで力を合わせている姿がとてもありがたく、勇気づけられたからです。ありがとうございます。

そんな大雪の中ですが、「6年生を送る会」を実施しました。下校時を「引き渡し」に急遽切り替えました。保護者の皆さまのご理解とご協力があればこそできたことです。感謝申し上げます。そして、全児童を引き渡した安堵感。私たち職員もまた、皆で力を合わせて乗り切りました。

心がひとつになった「6年生を送る会」 ~みんなががんばりました~



全校合唱「ありがとうの花」♪ 心のこもったとてもとても素敵な合唱でした

どの学年の出し物もとても素晴らしいです。大きな声で発表したり、楽しくダンスしたり、見ている人も参加できる工夫をしたり、学年のカラーを生かした盛りだくさんの内容でした。6年生に感謝の気持ちが十分伝わったと思います。そして、6年生からも圧巻の技披露もありました。樋川っ子のよさが感じられる大成功の「6年生を送る会」でした。次は、卒業、閉校に向けてみんなで心を一つにしていきます!

